

## 令和3年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	4	氏名	辻 村 岳 瑠 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	地域福祉の最前線事業、重層的支援の体制整備について			<p>国は社会福祉法を改正し、令和3年、新たに市町村を中心に重層的支援体制整備事業を展開しようとしている。これまで国は、長きにわたり、それぞれの法律や制度別で相談窓口を設置し、支援の対象者も限定してきた。そんな国内の状況が変わっていく中で、平成27年「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を掲げた。これに対し富士宮市はすでに平成18年から福祉の総合相談体制を整備している。以上のことから、重層的支援体制整備事業について市はどのように考えるのか、以下伺う。</p> <p>(1) 福祉的課題は、複雑かつ複合化し、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、課題やはざまのニーズ対応ができないと考えるが、現在の市の福祉的課題はどのようなものか伺う。</p> <p>(2) 一つの世帯に存在する複雑かつ複合化する福祉的課題を、市ではどのように相談から支援、改善へと繋げているのか伺う。</p> <p>(3) 重層的支援体制整備事業を地域包括ケアシステムで行うことを提案する。 富士宮市の福祉機能を構造的に見たとき、地域福祉の最前線事業である地域包括ケアシステムの機能を進化・進展させることによって、重層的支援の体制が整うと考える。市の考えを伺う。</p>		市長 副市長 関係部長
2	自然災害から市民生活を守る、森林整備の推進について			<p>地球温暖化の影響からか、近年では、大型台風だけでなく、長雨や突発的な豪雨、竜巻などによる突風被害なども、県内で発生している。</p> <p>第5次富士宮市総合計画では、自然災害から市民の生命と財産を守り、被害を最小限に抑えるために、森林整備を推進するとしている。林野面積が多い富士宮市にとって、森林整備の推進は、市民生活を守るために必要と考えるが、以下伺う。</p> <p>(1) 第5次富士宮市総合計画では、道路沿いの森林整備を積極的に推進するとしている。計画も折り返しを迎えた今、どの程度、道路沿いの森林整備を実施したか、また今後の予定について伺う。</p> <p>(2) 道路沿いの予防伐採は、景観の向上だけでなく、災害時の停電発生リスクや緊急車両の通行確保など、多様な効果を得られる有効な手段と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>(3) 森林環境譲与税を活用した市独自の予防伐採の実施を提案するが、いかがか。</p>		市長 副市長 関係部長
3	スペインとの親睦や交流の活用について			<p>東京オリンピック招致の際に話題となった「お・も・て・な・し」は多様な価値観を、どのように「もてなす」かが課題であった。人を「もてなす」とは、「心を込めて対応すること」だが、コロナ禍での「おもてなし」は、感染症対策への配慮や、市民や選手の不安感を取り除くことが必要だと考える。</p> <p>スペイン空手ナショナルチームのコロナ禍での「おもてなし」について、市の考えについて伺うとともに、富士宮市が築いたスペインとの親睦を今後どのように生かしていくかについて伺う。</p>		市長 副市長 関係部長

発言 順序	7	議席 番号	4	氏名	辻 村 岳 瑠 議員	2 / 2
発言項目		要 旨			答弁者	
		(1) スペイン空手ナショナルチームの受入れ人数、日程、コロナ禍での富士宮版「おもてなし」について伺う。 (2) オリンピック終了後のスペインとの交流について、引き続き教育委員会が管轄するのか、市民部が管轄するのかについて伺う。 (3) オリンピックを契機に築いたスペインとの親睦や信頼関係を、オリンピック終了後も発展できるかが重要だと考える。今後どのように生かすのか、市の考えを伺う。				